



2022 Hokkaido Kart Festival

In Nanporo

7/24 SUN.

開催場所：南幌リバーサイドカートランド

# 特別規則書

本競技会は、一般社団法人『日本自動車連盟』（以下「JAF」という）の公認のもとに 国際自動車連盟（FIA）のFIA国際モータースポーツ競技規則／国際カート規則、 および、その付則に準拠したJAF国内カート競技規則／JAF国内カート競技規則およびその付則、2022年（以下「当該年」という）SLカートミーティング競技規則および2022年北海道RMC特別規則書および公式通知に従って開催されます。

## 大会コンセプト

- 1,スポーツとしてカートレースをエンジョイする。
- 2,大人から子供まで、レースに参加しても、見ていても楽しいレースとする。
- 3,大会に関連する参加者すべてのマナー向上を目的とし、安全で公平なレース 運営を目指します。

## 競技会のクラス

- 1) SLカートミーティングカテゴリー；雨竜SLシリーズSSクラスRd.3ポイントレース
- 2) 雨竜シリーズカテゴリー：雨竜YAMAHA MZ200クラスRd.3ポイントレース
- 3) MAXライセンス：南幌オリジナルクラス
- 4) RMC北海道カテゴリー：RMC北海道Maicro Maxクラス
- 5) YAMAHA MZ200 90分耐久レース

## 開催場所、大会事務局

南幌リバーサイドカートランド

## オーガナイザーの名称

旭川カートクラブ・南幌カートスポーツクラブ・(株)栄光

## 競技会参加に関する事項

- 1) 受付期間【レース開催日1ヶ月前からレース1週間前までにエントリー宣言をお願いします】
- 2) 締切日を過ぎてからのレースエントリーは、期間外エントリーとして事務手数料 3,000 円をいただきます。ご了承ください。  
【決済方法】レース当日参加確認時に参加誓約書と一緒に現金で決済

## 参加資格

ヤマハSS：当該年度年齢小学6年生～ SL B以上  
雨竜MZ200：雨竜特別規則書規則書による  
MAXライセンス：当該年度中学1年生～ SL BまたはJAF B以上推奨  
Maicro Max:当該学年小学2年生～中学1年生 SLカデットまたはJAFJr以上または主催者が認めた者  
YAMAHA MZ200 90分耐久レース:小学生の参加は認めない

## レース参加に必要なものと傷害保険への加入義務

- 1) 出場クラスに適合したライセンスまたはコースライセンス（主催者またはエントラン トが認めた証明）が必要になります。

2) 競技会参加に関する誓約書

3) S Lカートミーティングクラスは、当該年度有効な S L安全保険証は持参してください。 ※S Lカートミーティングカテゴリーへ出場されるドライバーは、S L O(一般社 団法人カートスポーツ機構)が推進する「スポーツ安全保険」への加入が義務 付けられます。

4) S Lカートミーティングクラスは、当該年度有効な S L 規則書 (BOOK) を所持 していなければなりません。 競技当日は必ず持参してください。

5) S Lカートミーティングクラス以外へ参加の場合、傷害、死亡・後遺障害補償の ある保険加入証明ができるものを持参してください。

#### 参加料およびピット登録料

ヤマハ SS : 12,000 円(税込み)

雨竜 MZ200 : 12,000 円(税込み)

MAX ライツ : 12,000 円 (税込み)

Maicro Max:10,000 円 (税込み)

YAMAHA MZ200 90 分耐久レース : 1 チーム 10,000 円 (税込み)

※上記金額は期間内にエントリーが確認できた場合です。遅延エントリーは 3000 円の事務手数料を別途頂きます。

#### カートに関する事項

ヤマハ SS クラス、雨竜 MZ200 : 雨竜シリーズ規則書に準拠

MAX ライツクラス : RMC 北海道 Novice クラス規則書に準拠、ただし使用タイヤは MOJO D2 及び W5

Micro Max クラス : RMC 北海道規則書に準拠

MAMAHA MZ20090 分耐久レース : 2021 年南幌シリーズ規則書参考、ただしタイヤは UNILLI4.5/7.1  
レインタイヤ自由、オープン、ノーマルクラス混走、2 名以上での参加、3 ピット以上、最低走行時間 1 ステイント 10 分以上。

#### 最低重量

ヤマハ SS クラス : 145 キロ

雨竜 MZ200 クラス : 150 キロ

MAX ライツクラス : 160 キロ

Micro Max クラス : 110 キロ

MZ200 90 分耐久レース : 150 キロ

#### ドライバー傷害保険

競技に参加する者は、J A F 国内カート競技規則に定める傷害保険に、加入しなくてはなりません。



# 2022 北海道 Kart Festival

## ドライバーズブリーフィング通知

開催サーキット： 南幌リバーサイドカートランド

2022/7/24

### 必ずお読みください

大会開催にあたり、参加者の皆様へのお願い ・手洗いやうがいをこまめに行ってください。 ・パドック内では、ドライバー・メカニック・チーム員やご来場のお客様全員にマスク着用をお願いします。 ・体調が思わしくない方は、レースへのご参加及びご来場をお控えください。 ※ご来場後に体調に異変を感じた場合は、すみやかに大会事務局までお申し出ください。

- 1、 **ピット、パドック内は火気厳禁です。** 火器類の取り扱い注意事項を無視したドライバーやピットクルー（登録メカニック）は、当該レース失格となり参加を取り消される場合がありますのでご注意ください。
- 2、 **パドック内では、エンジンの始動チェックのみ行えます。（パドック内の暖気・から吹かしは禁止）** エンジンの暖気・から吹かしは、ダミーグリッドにて進行長の指示に従って行うことができます。 ※エンジン暖気に関する違反は、ペナルティの対象となります。
- 3、 工具を使ったメカニカル作業はピットエリアでのみ行えます。指定外のエリアで作業するとペナルティとなります。赤旗中断後の作業は、競技委員からの指示が出たあと、ピットエリアで作業できます。また、ドライバーに出すピットサインは、ピットサインエリアでのみ出すことができます。ピットサインエリア外で、サインを提示したり、ドライバーに指示をするとペナルティとなります。
- 4、 コース上では必ずドライバーサインを出し、周りのカートにアピールするようマナーの徹底をお願いします。 ※エントラントおよび、チーム関係者の方もドライバーへの指導にご協力ください。
- 5、 ピットエリア走行は徐行厳守で、ピットエリアスルーは禁止です。スルー走行の場合ペナルティとなります。
- 6、 コースアウトまたは接触等によって、走行中だったコースとは違った箇所飛び出してしまった場合、安全確認後、元いた場所に一番近いと思われるコース箇所から再スタートしてください。 ※走行不能の場合、車両を安全な場所に移動し、ドライバーは競技委員の誘導で迅速退避してください。
- 7、 公式練習、TT、予選はダミーグリッドからのスタートです。ファイナルヒートのみコース上からスタートとなり、コース上もダミーグリッド扱いになります。
- 8、 タイムトライアル開始後は、ピットエリアに入ることはできません。
- 9、 公式練習やタイムトライアル開始後、位置取りのための複数回の車線変更やレコードラインでの低速走

行、TTアタック中の車両妨害にあたる行為はペナルティの対象となります。また、後方のカートにラインを譲る場合は、レコードラインを開け、手で追い抜く側をしっかりと示すドライバーサインを必ず出すようにしてください。

- 10、予選ヒート、ファイナルヒートのコースイン後は、1 周のウォームアップ走行を導入します。ウォームアップ走行終了後、2 列の隊列を迅速に整え、グリッド順にて走行してください。ローリングペースが速い場合はDOWNボード提示、良い場合はKEEPボードを提示します。先頭グループはアドバンテージがあるものの、隊列のスピードを調整する義務があります。隊列を大きく乱したり、隣のカートと接触するような悪質な行為の場合は、積極的に白黒旗が提示されたり、ポジション降格やタイム加算等のペナルティが入ります。
- 11、ローリング中のポジション復帰禁止区間は、第7コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンを結んだ赤い線上を通過した箇所から、25Mラインまでです。隊列を引っ張る先頭グループは、6コーナー通過後ペースを落としながら隊列を整えるべくローリングスピードを調整し、2列の隊列を形成するようにしてください。ローリングスピードの調整はオフィシャルから指示が出ます。また隊列から大きく遅れた車両には最後尾についてのスタートとなります。**※ミススタートになった場合でも、ポジションの復帰は出来ません**
- 12、ローリングスタート後、第7コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンに隊列の先頭集団が差しかかった時点で、ピットからのスタートはできません。
- 13、ローリング途中で自分のグリッドに戻れない車両がいた場合でも、競技委員の判断でそのままスタートを切る場合があります。また、**グリッドが著しく乱れていた場合は**、さらにもう1周の合図が出て、再度ローリングが継続されます。その場合、**正しいグリッドから外れていた車両は正規の位置に戻る権利が再度発生します**。但し、ポジション復帰禁止区間では戻れません。**※ドライバーサインは必ず出してください！**
- 14、全クラス、ローリングの隊列が25Mラインを越えて、スタート合図（シグナルのブラックアウト）が出た後であれば、隊列は2列のコリドーライン（誘導白線）を跨いだり、追い抜きをかけてもペナルティにはなりません。スタート合図前にコリドーラインを跨ぐ車線変更や追い抜きをした場合、スタート隊列違反ペナルティ等が入ります。
- 15、隊列に出すスタート合図は、コース右側信号の赤点灯から消灯（ブラックアウト）になった瞬間といたします。赤信号が消えない場合は再ローリングとなり、メインポストからもう1周の合図を提示いたします。**※スタートが切られた場合は**、メインポストからピットエリアに知らせるため日章旗を振ります。
- 16、スタート合図の際、ドライバー本人のミスで遅れてもミススタートとはせず、レースが続行されます。悪質なポジション取りや隊列を乱す行為には、白黒旗が出て警告をします。繰り返すとペナルティとなり、グリッド降格、成績にタイム加算や最後尾スタートとなります。
- 17、雨天時、雨の量が多く、2列でのスタートが危険と判断された場合、グリッド表の隊列ではなく、1位を先頭に1列のフォーメーションでローリングを行います。**※この場合**、ホームストレート中央付近

を走行し、誘導 白線は使用しません。ブラックアウトまでは追い越しは出来ず、コントロールラインを越えてから追い抜きが 可能となります。安全を考慮し進行しますので、周回数減やイエローコーションでレース終了などもあります。

- 18、 競技中、吸排気系の部品にトラブルが発生した場合、基本的にはレースを終了しなくてはなりません。但し、後方に危険がおよびそうな場合に限っては、オレンジボール旗によって、ピットインを指示する場合があります。この場合、ピット作業エリアで修復すればレースに復帰が可能です。
- 19、 走行中の多重クラッシュや大きなアクシデント発生時、ドライバーの意思に関係なく救済に入ることがあります。その場合、状況によってはレースに戻ることができます。 オフィシャルが救済したから、即リタイアという判断にはならない場合があります。
- 20、 赤旗時、緊急を要する負傷者がいる場合、その措置が優先となります。 ※場合によっては競技が中止されます。
- 21、 各ヒート終了後、各車両はピットイン後車検場にて検査を受けてください。 レース途中でリタイアしていた参加者は車検を受けることが望ましいですが、車検を受けなかった場合、当該 ヒート未車検扱いとなり失格となります。また、部品やその他の装備違反等が、前の車検でクリアしていても、最終ヒート走行後に不備が発覚した場合は当該ヒート失格（NG）となります。
- 22、 競技会中の違反に関するペナルティは下記と通りとします。 ※一例です (1) 悪質なプッシング、幅寄せ、その他の危険走行の場合⇒警告ボードや白黒旗（累積2回で黒旗） (2) ペナルティカタログの対象行為などをした場合 ⇒競技役員で審議後、ペナルティ (3) フラッグ無視、車両違反、装備不具合などをした場合 ⇒ペナルティやヒート失格（NG） (4) スポーツマンシップに反した行為や軽度な規則違反をした場合 ⇒警告やペナルティ 暴力行為、威圧、威嚇行為、誹謗中傷や侮辱等（現場やSNS 含む）、悪質な場合は失格（NG）
- 23、 レース終了後、車検場にて計測装置（レンタルポンドー）を回収しますので、取り外しをお願いします。
- 24、 上位入賞カート、車検委員長が指定したカートは車両保管を受け、エンジンなどのオープン検査を行います。 車両検査は各メカニック立会いの元実施、終了するまでカートはパドックに戻れません。
- 25、 競技の詳細規定、注意事項は、各特別規則書を必ずご確認ください。 ※公式通知含む
- 26、 参加者はレース終了後の表彰式に参加し、終了後はピットパドックの片付け、清掃をお願いいたします。